

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間	2018年1月22日まで（2008年1月31日設定）	
運用方針	ファミリーファンド方式により、先進国と新興国のソブリン債券および準ソブリン債券を中心に投資を行い、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	ベビーファンド	先進国高金利通貨オープン マザーファンド受益証券、新興国高金利通貨オープン マザーファンド受益証券
	先進国高金利通貨オープン マザーファンド	先進国のソブリン債券および準ソブリン債券
	新興国高金利通貨オープン マザーファンド	新興国のソブリン債券および準ソブリン債券
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> 先進国と新興国の債券に当ファンドの純資産総額の50%程度ずつ投資し、それぞれの割合が一定の範囲となるよう調整します。 「新興国高金利通貨オープン マザーファンド」の運用指図権限をウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに委託します。 	
主な組入制限	ベビーファンド	<ul style="list-style-type: none"> マザーファンドへの投資割合は、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合は、制限を設けません。 ソブリン債券以外への実質投資は、取得時において、当ファンドの純資産総額の35%以内とします。 同一企業が発行する債券への実質投資は、取得時において、当ファンドの純資産総額の10%以内とします。
	先進国高金利通貨オープン マザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> 外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。 ソブリン債券以外への投資は、取得時において、当マザーファンドの純資産総額の35%以内とします。 同一企業が発行する債券への投資は、取得時において、信託財産の純資産総額の10%以内とします。
	新興国高金利通貨オープン マザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> 外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。 ソブリン債券以外への投資は、取得時において、当マザーファンドの純資産総額の35%以内とします。 同一企業が発行する債券への投資は、取得時において、信託財産の純資産総額の10%以内とします。
分配方針	毎月22日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準・市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないこともあります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。

詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

グローバル高金利通貨オープン （毎月決算型）



第90期（決算日：2015年7月22日）
 第91期（決算日：2015年8月24日）
 第92期（決算日：2015年9月24日）
 第93期（決算日：2015年10月22日）
 第94期（決算日：2015年11月24日）
 第95期（決算日：2015年12月22日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「グローバル高金利通貨オープン（毎月決算型）」は、去る12月22日に第95期の決算を行いましたので、法令に基づいて第90期～第95期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

国際投信投資顧問株式会社は2015年7月1日に三菱UFJ投信株式会社と合併し、「三菱UFJ国際投信株式会社」となりました。



三菱UFJ国際投信

MUFG

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 URL:<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル

TEL. 0120-759311

(9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

◆目次

◀ グローバル高金利通貨オープン（毎月決算型）のご報告 ▶

◇最近30期の運用実績	1
◇当作成期中の基準価額と市況等の推移	2
◇運用経過	3
◇今後の運用方針	8
◇1万口当たりの費用明細	9
◇売買及び取引の状況	10
◇利害関係人との取引状況等	10
◇組入資産の明細	11
◇投資信託財産の構成	11
◇資産、負債、元本及び基準価額の状況	12
◇損益の状況	13
◇分配金のお知らせ	14
◇お知らせ	14

◀ マザーファンドのご報告 ▶

◇先進国高金利通貨オープン マザーファンド	15
◇新興国高金利通貨オープン マザーファンド	26

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			債 券 債 券 純 資 産 組 入 比 率 先 物 比 率 総 額	債 券 債 券 純 資 産 組 入 比 率 先 物 比 率 総 額	債 券 債 券 純 資 産 組 入 比 率 先 物 比 率 総 額	債 券 債 券 純 資 産 組 入 比 率 先 物 比 率 総 額
	(分配落)	税 込 配 分	期 騰 落 中 率				
	円	円	%	%	%		百万円
66期(2013年7月22日)	6,707	25	3.5	96.2	—		6,359
67期(2013年8月22日)	6,376	25	△4.6	95.6	—		5,971
68期(2013年9月24日)	6,700	25	5.5	95.2	—		6,188
69期(2013年10月22日)	6,694	25	0.3	95.9	—		6,113
70期(2013年11月22日)	6,715	25	0.7	95.7	—		6,035
71期(2013年12月24日)	6,848	25	2.4	95.4	—		5,915
72期(2014年1月22日)	6,730	25	△1.4	94.8	—		5,777
73期(2014年2月24日)	6,596	25	△1.6	94.7	—		5,601
74期(2014年3月24日)	6,568	25	△0.0	94.1	—		5,529
75期(2014年4月22日)	6,747	25	3.1	95.9	—		5,584
76期(2014年5月22日)	6,725	25	0.0	95.7	—		5,498
77期(2014年6月23日)	6,741	25	0.6	96.1	—		5,432
78期(2014年7月22日)	6,694	25	△0.3	96.0	—		5,304
79期(2014年8月22日)	6,754	25	1.3	96.0	—		5,318
80期(2014年9月22日)	6,872	25	2.1	95.7	—		5,342
81期(2014年10月22日)	6,599	25	△3.6	86.1	—		5,054
82期(2014年11月25日)	7,100	25	8.0	93.5	—		4,613
83期(2014年12月22日)	6,782	25	△4.1	91.7	—		4,306
84期(2015年1月22日)	6,585	25	△2.5	94.6	—		4,149
85期(2015年2月23日)	6,519	25	△0.6	95.0	—		3,999
86期(2015年3月23日)	6,367	25	△1.9	95.4	—		3,842
87期(2015年4月22日)	6,475	25	2.1	94.9	—		3,839
88期(2015年5月22日)	6,695	25	3.8	94.8	—		3,918
89期(2015年6月22日)	6,579	25	△1.4	91.9	—		3,759
90期(2015年7月22日)	6,403	25	△2.3	94.5	—		3,603
91期(2015年8月24日)	5,889	25	△7.6	93.3	—		3,259
92期(2015年9月24日)	5,635	25	△3.9	95.2	—		3,073
93期(2015年10月22日)	5,822	25	3.8	95.8	—		3,144
94期(2015年11月24日)	5,910	25	1.9	95.5	—		3,161
95期(2015年12月22日)	5,684	25	△3.4	94.5	—		3,000

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み合わせますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

※当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落 率	騰 落 率		
第90期	(期 首) 2015年6月22日	円 6,579	% —	% 91.9	% —
	6月末	6,488	△1.4	95.4	—
	(期 末) 2015年7月22日	6,428	△2.3	94.5	—
第91期	(期 首) 2015年7月22日	6,403	—	94.5	—
	7月末	6,265	△2.2	94.1	—
	(期 末) 2015年8月24日	5,914	△7.6	93.3	—
第92期	(期 首) 2015年8月24日	5,889	—	93.3	—
	8月末	5,871	△0.3	95.0	—
	(期 末) 2015年9月24日	5,660	△3.9	95.2	—
第93期	(期 首) 2015年9月24日	5,635	—	95.2	—
	9月末	5,648	0.2	96.3	—
	(期 末) 2015年10月22日	5,847	3.8	95.8	—
第94期	(期 首) 2015年10月22日	5,822	—	95.8	—
	10月末	5,850	0.5	95.7	—
	(期 末) 2015年11月24日	5,935	1.9	95.5	—
第95期	(期 首) 2015年11月24日	5,910	—	95.5	—
	11月末	5,856	△0.9	95.6	—
	(期 末) 2015年12月22日	5,709	△3.4	94.5	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

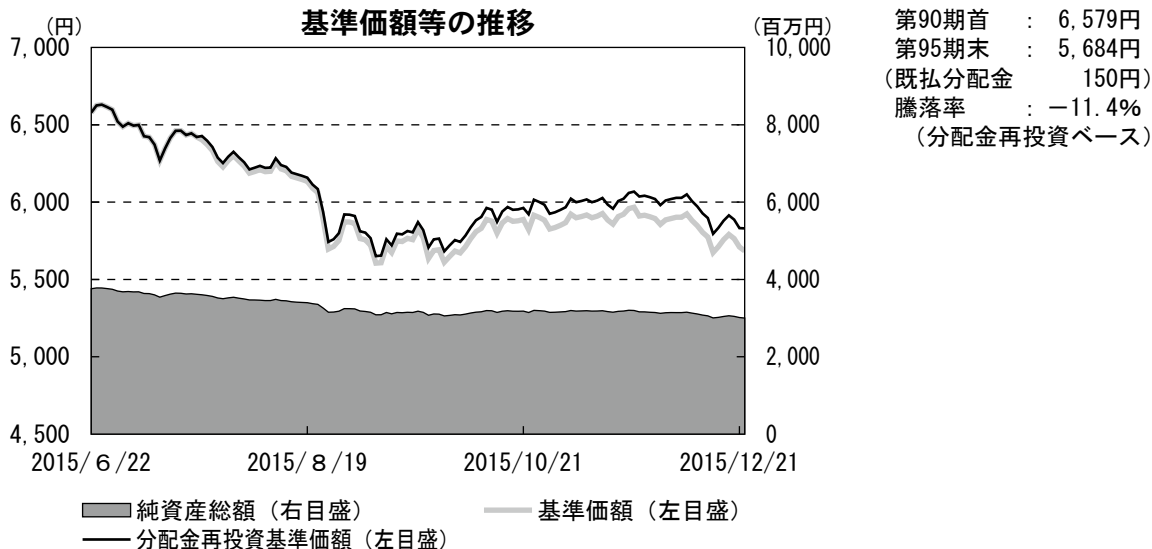
運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について

（第90期～第95期：2015/6/23～2015/12/22）

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ11.4%（分配金再投資ベース）の下落となりました。



- ・ 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・ 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の主な変動要因

下落要因

全ての投資国通貨が対円で下落（円高）したこと、米国やブラジルなどの金利上昇により債券価格が下落したことが、基準価額の下落要因となりました。

投資環境について

（第90期～第95期：2015/6/23～2015/12/22）

◎先進国債券市況

- ・先進国債券市場は、金融政策の違いなどから金利はまちまちの動きとなりました。
- ・米国では、利上げ観測の高まりなどを受けて金利が上昇（債券価格は下落）しました。オーストラリアでは、資源価格の下落などを受けて景気が軟調に推移していることから金利が低下（債券価格は上昇）する局面があったものの、作成期を通してみると上昇しました。シンガポールでは、金利が低下する局面があったものの、作成期を通してみると小幅上昇しました。
- ・イギリスでは、金利が上昇する局面があったものの、低インフレが続いていることなどを背景に低下しました。ニュージーランドでは、景気浮揚を目的とした中央銀行による利下げなどを背景に金利は低下しました。

◎新興国債券市況

- ・新興国債券市場は、市場参加者のリスク回避姿勢が強まったことなどを背景に、多くの投資対象国で金利は上昇（債券価格は下落）しました。2015年7月から8月下旬にかけて原油価格が下落したことや8月に中国人民銀行（中央銀行）が市場予想に反して人民元の対米ドル為替レートの基準値切り下げを行ったことで新興国経済への不透明感が高まり、作成期を通してみると多くの投資対象国で金利は上昇しました。
- ・ロシアでは、原油安などによる景気悪化を背景としたロシアの中央銀行による政策金利の引き下げなどによって金利は低下（債券価格は上昇）しました。

◎先進国為替市況

- ・先進国為替市場は、中国の景気減速懸念や資源価格の下落などを背景にリスク回避的な動きが強まり、全ての投資対象国通貨が作成期を通してみると対円で下落（円高）しました。
- ・米ドルは、利上げ観測などを受けて対円で上昇（円安）する局面があったものの、作成期を通してみると対円で下落しました。イギリス・ポンドは、低インフレ環境が続いていることを受けて利上げ観測が遠のいたことなどから、対円で下落しました。オーストラリア・ドルは、資源価格の下落などを背景に対円で下落しました。ニュージーランド・ドルは、主要な輸出品目である乳製品の価格などは底堅く推移したものの、世界的なリスク回避姿勢の強まりを受け、対円で下落しました。

◎新興国為替市況

- ・新興国為替市場は、中国経済の減速懸念や、原油をはじめとする商品市況の低迷、米国の利上げ観測の強まりなどを背景に、全ての投資対象国通貨が作成期を通してみると対円で下落（円高）しました。ロシア・ルーブルは2015年7月から8月にかけて原油価格の下落が続いたことを背景に対円で下落しました。南アフリカ・ランドは、12月にズマ大統領がネネ財務相を解任したことなどを背景に対円で下落しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

※委託会社合併に伴う、データ基準統一のため、組入比率に関して、未収利息等を除いております。

<グローバル高金利通貨オープン（毎月決算型）>

- ・当ファンドは、先進国高金利通貨オープン マザーファンドおよび新興国高金利通貨オープン マザーファンドの各受益証券を通じて、あらかじめ定めた先進国および新興国の投資対象国のうち、相対的に金利水準が高く、ファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）や市場規模、流動性等を勘案し選定した先進国5通貨、新興国5通貨の現地通貨建ソブリン債券におおむね均等に投資を行いました。
- ・作成期末における当ファンドの純資産総額に対する各マザーファンドの組入比率
 先進国高金利通貨オープン マザーファンド 49.5%程度
 新興国高金利通貨オープン マザーファンド 49.2%程度

<先進国高金利通貨オープン マザーファンド>

- ・基準価額は作成期首に比べ、6.4%の下落となりました。
- ・あらかじめ定めた先進国の投資対象国のうち、相対的に金利水準が高く、ファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）や市場規模、流動性等を勘案し選定した先進国5通貨の現地通貨建ソブリン債券におおむね均等に投資を行いました。
- ・国別資産配分については、作成期首は、ニュージーランド、オーストラリア、シンガポール、ノルウェー、カナダの現地通貨建国債をおおむね均等に組み入れたポートフォリオとしました。2015年9月に投資国通貨の定期見直しを実施し、金利の相対的な魅力度などを勘案した結果、カナダおよびノルウェー国債からアメリカおよびイギリス国債への入れ替えを実施しました。作成期末は、ニュージーランド、オーストラリア、シンガポール、イギリス、アメリカの現地通貨建国債をおおむね均等に組み入れたポートフォリオとしました。
- ・残存期間については、各投資国の残存期間3年以内の国債へ投資を行いました。
- ・外貨の組入比率を高水準に維持し、外貨建資産については対円での為替ヘッジは行いませんでした。
- ・前記のような運用の結果、全ての投資国通貨が対円で下落（円高）したことや、米国やオーストラリアなどで金利が上昇し債券価格が下落したことが、基準価額の下落要因となりました。

（ご参考）

ポートフォリオの状況

作成期首（2015年6月22日）

通貨	債券組入比率	平均残存期間（年）	平均最終利回り	平均格付
ニュージーランド・ドル	18.2%	2.5	2.9%	AAA
オーストラリア・ドル	20.3%	1.7	1.9%	AAA
シンガポール・ドル	20.2%	1.2	0.9%	AAA
ノルウェー・クローネ	18.9%	1.9	0.8%	AAA
カナダ・ドル	19.8%	0.9	0.7%	AAA
その他	2.7%	—	—	—
合計／平均	100.0%	1.6	1.4%	AAA

作成期末（2015年12月22日）

通貨	債券組入比率	平均残存期間（年）	平均最終利回り	平均格付
ニュージーランド・ドル	19.2%	2.0	2.7%	AAA
オーストラリア・ドル	19.6%	1.2	2.1%	AAA
シンガポール・ドル	18.7%	0.7	0.7%	AAA
イギリス・ポンド	19.2%	0.7	0.3%	AAA
アメリカ・ドル	19.3%	0.2	0.2%	AAA
その他	4.1%	—	—	—
合計／平均	100.0%	0.9	1.2%	AAA

※組入比率は未収利息等を除いております。

・後記の注記をご参照ください。

＜新興国高金利通貨オープン マザーファンド＞

- ・ 基準価額は作成期首に比べ、15.6%の下落となりました。
- ・ あらかじめ定めた新興国の投資対象国のうち、相対的に金利水準が高く、ファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）や市場規模、流動性等を勘案し選定した新興国5通貨の現地通貨建ソブリン債券におおむね均等に投資を行いました。
- ・ 国別資産配分については、作成期首は、ブラジル、ロシア、トルコ、南アフリカ、コロンビアの現地通貨建国債をおおむね均等に組み入れたポートフォリオとしました。2015年9月に投資国通貨の見直しを実施し、金利水準などを勘案してコロンビア国債を売却し、メキシコ国債への入れ替えを実施しました。その後、実施した定期的な投資国通貨の見直しでは、投資国通貨に変更を加えませんでした。
- ・ 残存期間については、各投資国の残存期間3年以内の国債へ投資を行いました。
- ・ 外貨の組入比率を高水準に維持し、外貨建資産については対円での為替ヘッジは行いませんでした。
- ・ 前記のような運用の結果、作成期を通じて多くの投資国で金利が上昇（債券価格は下落）したこと、および全ての投資国通貨が対円で下落したことが、基準価額の下落要因となりました。

（ご参考）

ポートフォリオの状況

作成期首（2015年6月22日）

通貨	債券組入比率	平均残存期間（年）	平均最終利回り	平均格付
ブラジル・レアル	19.5%	1.5	14.1%	BBB+
ロシア・ルーブル	19.4%	0.5	11.5%	BBB-
トルコ・リラ	12.0%	0.7	10.0%	BBB-
南アフリカ・ランド	20.0%	1.7	7.1%	BBB+
コロンビア・ペソ	18.0%	0.3	5.4%	BBB+
その他	11.0%	—	—	—
合計／平均	100.0%	0.9	8.8%	BBB

作成期末（2015年12月22日）

通貨	債券組入比率	平均残存期間（年）	平均最終利回り	平均格付
ブラジル・レアル	19.5%	1.1	15.9%	BBB-
ロシア・ルーブル	18.3%	1.3	11.1%	BBB-
トルコ・リラ	19.7%	1.1	10.8%	BBB-
南アフリカ・ランド	18.6%	1.5	8.0%	BBB+
メキシコ・ペソ	19.6%	2.2	4.2%	A
その他	4.3%	—	—	—
合計／平均	100.0%	1.4	9.6%	BBB

※組入比率は未収利息等を除いております。

・ 後記の注記をご参照ください。

（注）債券組入比率、平均残存期間（年）、平均最終利回り、平均格付は、現地通貨建債券の時価残高合計で加重平均し算出しています。

（注）平均格付は、Moody's社とS&P社の自国通貨建長期債務格付のうち、上位格付を基に三菱UFJ国際投信が計算し、S&P社の表示方法で表記しています。（出所：Bloomberg）

（注）合計値が表記の各要素と異なることがありますが、四捨五入による影響です。

（注）平均格付とは、基準日時点で投資信託財産が保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、ファンドおよびマザーファンドに係る信用格付ではありません。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドは運用の目標となるベンチマーク等を設けておりません。そのため、記載すべき事項はありません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準・市況動向等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
	2015年6月23日～ 2015年7月22日	2015年7月23日～ 2015年8月24日	2015年8月25日～ 2015年9月24日	2015年9月25日～ 2015年10月22日	2015年10月23日～ 2015年11月24日	2015年11月25日～ 2015年12月22日
当期分配金	25	25	25	25	25	25
（対基準価額比率）	0.389%	0.423%	0.442%	0.428%	0.421%	0.438%
当期の収益	25	25	23	23	25	18
当期の収益以外	—	—	2	2	—	7
翌期繰越分配対象額	273	274	272	270	272	266

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<グローバル高金利通貨オープン（毎月決算型）>

◎今後の運用方針

- ・引き続き、原則として、ファンドの純資産総額に対して先進国高金利通貨オープン マザーファンド、新興国高金利通貨オープン マザーファンドへ2分の1程度ずつの投資を行い、各投資割合が一定の範囲内となるよう組入比率の調整を行います。

<先進国高金利通貨オープン マザーファンド>

◎運用環境の見直し

- ・欧州や日本では金融緩和が継続されており、世界的な低インフレなどを背景に米国の利上げペースも緩慢なものとなることが予想されるなか、金利は低位安定で推移すると予想しています。
- ・為替に関しては、短期的には投資家のリスクセンチメントの動向を受け、値動きの荒い展開となる可能性があるものの、日銀による金融緩和の長期化が見込まれるなか、主要な投資対象国通貨は対円で底堅く推移すると予想しています。

◎今後の運用方針

- ・国別資産配分では、原則として、先進国の中から相対的に金利の高い5通貨を選定し、現地通貨建の債券に均等に投資します。投資国通貨の選定においては、各国のファンダメンタルズや市場規模、流動性等も考慮します（選定通貨の見直しは定期的に行いますが、必要と判断した場合は別のタイミングで一部の通貨を入れ替えることがあります。入れ替えの途中などでは一時的に投資国通貨が5通貨とまらないこともあります。）。
- ・残存期間が3年を超える債券には、原則として投資しないものとします。
- ・外貨の組入比率を高水準に維持し、外貨建資産については対円での為替ヘッジは原則として行わない方針です。

<新興国高金利通貨オープン マザーファンド>

◎運用環境の見直し

- ・中国経済の減速や資源価格の下落は、一部の新興国の成長にマイナスとなっています。しかしながら、多くの新興国における外貨準備残高や対外債務残高は問題ない水準と考えられ、ファンダメンタルズは良好とみています。今後の運用環境においては、中国経済の動向や先進国および新興国の金融政策といったリスク要因が考えられます。
- ・新興国債券市場においては、資源の輸出国と輸入国の違いや、各国の金融政策に注目する必要がありますとみています。
- ・新興国為替市場においては、資源輸入国や経常黒字国の通貨が、不安定な経済環境の中で、相対的に優位な状況にあるとみています。

◎今後の運用方針

- ・国別資産配分では、原則として、新興国の中から相対的に金利の高い5通貨を選定し、現地通貨建の債券に均等に投資します。投資国通貨の選定においては、各国のファンダメンタルズや市場規模、流動性等も考慮します（選定通貨の見直しは定期的に行いますが、必要と判断した場合は別のタイミングで一部の通貨を入れ替えることがあります。入れ替えの途中などでは一時的に投資国通貨が5通貨とまらないこともあります。）。
- ・残存期間が3年を超える債券には、原則として投資しないものとします。
- ・外貨の組入比率を高水準に維持し、外貨建資産については対円での為替ヘッジは原則として行わない方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2015年6月23日～2015年12月22日）

項目	第90期～第95期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	29円	0.486%	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × $\frac{\text{作成期中の日数}}{\text{年間日数}}$
（投信会社）	(14)	(0.238)	当ファンドの運用、受託会社への運用指図、目論見書等の作成等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供 等の対価 当ファンドの財産の保管および管理、投信会社からの運用指図の実行等 の対価
（販売会社）	(14)	(0.232)	
（受託会社）	(1)	(0.016)	
(b) その他費用	2	0.039	(b) その他費用 = $\frac{\text{作成期中のその他費用}}{\text{作成期中の平均受益権口数}}$
（保管費用）	(2)	(0.037)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用等 監査法人に支払われる当ファンドの監査費用等
（監査費用）	(0)	(0.002)	
合計	31	0.525	
作成期中の平均基準価額は、5,996円です。			

（注）作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

（注）消費税は報告日の税率を採用しています。

（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

（注）その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

（注）各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2015年6月23日～2015年12月22日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第90期～第95期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
先進国高金利通貨オープン マザーファンド	千口 188,951	千円 192,899	千口 435,893	千円 446,838
新興国高金利通貨オープン マザーファンド	282,337	300,200	371,664	397,992

○利害関係人との取引状況等

（2015年6月23日～2015年12月22日）

利害関係人との取引状況

<グローバル高金利通貨オープン（毎月決算型）>

該当事項はございません。

<先進国高金利通貨オープン マザーファンド>

区 分	第90期～第95期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 646	百万円 6	% 0.9	百万円 912	百万円 235	% 25.8

平均保有割合 98.7%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

<新興国高金利通貨オープン マザーファンド>

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行です。

○組入資産の明細

(2015年12月22日現在)

親投資信託残高

銘	柄	第89期末	第95期末	
		口数	口数	評価額
		千口	千口	千円
先進国高金利通貨オープン	マザーファンド	1,705,891	1,458,950	1,484,481
新興国高金利通貨オープン	マザーファンド	1,550,294	1,460,967	1,475,869

マザーファンドの組入資産の明細につきましては、マザーファンド頁をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2015年12月22日現在)

項	目	第95期末	
		評価額	比率
		千円	%
先進国高金利通貨オープン	マザーファンド	1,484,481	49.2
新興国高金利通貨オープン	マザーファンド	1,475,869	48.9
コール・ローン等、その他		59,375	1.9
投資信託財産総額		3,019,725	100.0

(注) 先進国高金利通貨オープン マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産（1,469,993千円）の投資信託財産総額（1,507,323千円）に対する比率は97.5%です。

(注) 新興国高金利通貨オープン マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産（1,486,273千円）の投資信託財産総額（1,507,530千円）に対する比率は98.6%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=121.21円	1 メキシコペソ=7.07円	1 ブラジルレアル=30.21円	1 イギリスポンド=180.54円
1 トルコリラ=41.64円	1 ロシアルーブル=1.70円	1 オーストラリアドル=87.27円	1 ニューージーランドドル=82.20円
1 シンガポールドル=86.22円	1 南アフリカランド=8.04円		

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第90期末	第91期末	第92期末	第93期末	第94期末	第95期末
	2015年7月22日現在	2015年8月24日現在	2015年9月24日現在	2015年10月22日現在	2015年11月24日現在	2015年12月22日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	3,623,355,788	3,279,699,139	3,095,228,726	3,165,122,237	3,192,520,406	3,019,725,823
コール・ローン等	64,334,479	56,731,325	49,670,583	58,519,193	61,302,805	54,746,094
先進国高金利通貨オープン マザーファンド(評価額)	1,780,155,462	1,616,675,139	1,528,915,110	1,556,298,525	1,561,485,451	1,484,481,675
新興国高金利通貨オープン マザーファンド(評価額)	1,775,958,254	1,598,904,003	1,502,909,684	1,546,164,035	1,557,773,952	1,475,869,452
未収入金	2,907,500	7,388,589	13,733,276	4,140,400	11,958,100	4,628,518
未収利息	93	83	73	84	98	84
(B) 負債	20,105,442	19,747,675	21,258,711	20,294,975	30,881,974	18,912,085
未払収益分配金	14,069,105	13,839,624	13,636,738	13,503,558	13,375,041	13,197,771
未払解約金	3,103,981	2,853,184	5,004,065	4,446,504	14,708,319	3,398,962
未払信託報酬	2,919,390	3,041,361	2,606,334	2,334,546	2,786,242	2,305,116
その他未払費用	12,966	13,506	11,574	10,367	12,372	10,236
(C) 純資産総額(A-B)	3,603,250,346	3,259,951,464	3,073,970,015	3,144,827,262	3,161,638,432	3,000,813,738
元本	5,627,642,100	5,535,849,858	5,454,695,486	5,401,423,313	5,350,016,714	5,279,108,662
次期繰越損益金	△2,024,391,754	△2,275,898,394	△2,380,725,471	△2,256,596,051	△2,188,378,282	△2,278,294,924
(D) 受益権総口数	5,627,642,100口	5,535,849,858口	5,454,695,486口	5,401,423,313口	5,350,016,714口	5,279,108,662口
1万口当たり基準価額(C/D)	6.403円	5.889円	5.635円	5.822円	5.910円	5.684円

○損益の状況

項 目	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
	2015年6月23日～ 2015年7月22日	2015年7月23日～ 2015年8月24日	2015年8月25日～ 2015年9月24日	2015年9月25日～ 2015年10月22日	2015年10月23日～ 2015年11月24日	2015年11月25日～ 2015年12月22日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	1,633	1,701	1,303	1,106	1,581	1,465
受取利息	1,633	1,701	1,303	1,106	1,581	1,465
(B) 有価証券売買損益	△ 82,037,336	△ 267,708,416	△ 122,001,388	116,660,201	62,875,095	△ 103,463,118
売買益	724,077	1,643,387	1,291,895	117,699,939	63,791,217	853,363
売買損	△ 82,761,413	△ 269,351,803	△ 123,293,283	△ 1,039,738	△ 916,122	△ 104,316,481
(C) 信託報酬等	△ 2,932,356	△ 3,054,867	△ 2,617,908	△ 2,344,913	△ 2,798,614	△ 2,315,352
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	△ 84,968,059	△ 270,761,582	△ 124,617,993	114,316,394	60,078,062	△ 105,777,005
(E) 前期繰越損益金	△ 1,424,351,051	△ 1,496,269,909	△ 1,751,981,865	△ 1,868,423,212	△ 1,747,978,993	△ 1,676,008,784
(F) 追加信託差損益金	△ 501,003,539	△ 495,027,279	△ 490,488,875	△ 488,985,675	△ 487,102,310	△ 483,311,364
(配当等相当額)	(4,893,399)	(5,035,098)	(5,192,539)	(5,399,417)	(5,575,642)	(5,727,381)
(売買損益相当額)	(△ 505,896,938)	(△ 500,062,377)	(△ 495,681,414)	(△ 494,385,092)	(△ 492,677,952)	(△ 489,038,745)
(G) 計(D+E+F)	△ 2,010,322,649	△ 2,262,058,770	△ 2,367,088,733	△ 2,243,092,493	△ 2,175,003,241	△ 2,265,097,153
(H) 収益分配金	△ 14,069,105	△ 13,839,624	△ 13,636,738	△ 13,503,558	△ 13,375,041	△ 13,197,771
次期繰越損益金(G+H)	△ 2,024,391,754	△ 2,275,898,394	△ 2,380,725,471	△ 2,256,596,051	△ 2,188,378,282	△ 2,278,294,924
追加信託差損益金	△ 501,003,539	△ 495,027,279	△ 490,488,875	△ 488,985,675	△ 487,102,310	△ 483,311,364
(配当等相当額)	(4,901,560)	(5,043,152)	(5,198,738)	(5,406,058)	(5,582,162)	(5,732,449)
(売買損益相当額)	(△ 505,905,099)	(△ 500,070,431)	(△ 495,687,613)	(△ 494,391,733)	(△ 492,684,472)	(△ 489,043,813)
分配準備積立金	149,063,106	146,679,241	143,327,172	140,873,919	140,406,625	135,076,612
繰越損益金	△ 1,672,451,321	△ 1,927,550,356	△ 2,033,563,768	△ 1,908,484,295	△ 1,841,682,597	△ 1,930,060,172

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ① 作成期首（前作成期末）元本額 5,714,789,349円
 作成期中追加設定元本額 50,208,975円
 作成期中一部解約元本額 485,889,662円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.5684円です。
- ② 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は2,278,294,924円です。
- ③ 分配金の計算過程

項 目	2015年6月23日～ 2015年7月22日	2015年7月23日～ 2015年8月24日	2015年8月25日～ 2015年9月24日	2015年9月25日～ 2015年10月22日	2015年10月23日～ 2015年11月24日	2015年11月25日～ 2015年12月22日
費用控除後の配当等収益額	31,311,688円	14,011,682円	12,587,212円	12,664,872円	14,434,032円	9,885,068円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円	－円	－円	－円	－円	－円
収益調整金額	4,901,560円	5,043,152円	5,198,738円	5,406,058円	5,582,162円	5,732,449円
分配準備積立金額	131,820,523円	146,507,183円	144,376,698円	141,712,605円	139,347,634円	138,389,315円
当ファンドの分配対象収益額	168,033,771円	165,562,017円	162,162,648円	159,783,535円	159,363,828円	154,006,832円
1万口当たり収益分配対象額	298円	299円	297円	295円	297円	291円
1万口当たり分配金額	25円	25円	25円	25円	25円	25円
収益分配金金額	14,069,105円	13,839,624円	13,636,738円	13,503,558円	13,375,041円	13,197,771円

- ④ 当ファンドの投資対象である「新興国高金利通貨オープン マザーファンド」において、信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、信託財産の純資産総額に年1万分の30の率を乗じて得た金額を委託者報酬の中から支弁しております。

○分配金のお知らせ

	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
1 万口当たり分配金(税込み)	25円	25円	25円	25円	25円	25円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<http://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

【お知らせ】

- ①委託者である「国際投信投資顧問株式会社」は「三菱UFJ投信株式会社」との合併により解散し、存続会社である「三菱UFJ投信株式会社」は2015年7月1日付で「三菱UFJ国際投信株式会社」と商号変更するための、所要の約款変更を2015年7月1日に行いました。
- ②委託者が受益者に対してする公告は、電子公告の方法により行うための、所要の約款変更を2015年7月1日に行いました。
- ③2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われず。））の税率が適用されます。

先進国高金利通貨オープン マザーファンド

《第90期》決算日2015年7月22日 《第93期》決算日2015年10月22日
 《第91期》決算日2015年8月24日 《第94期》決算日2015年11月24日
 《第92期》決算日2015年9月24日 《第95期》決算日2015年12月22日

[計算期間：2015年6月23日～2015年12月22日]

「先進国高金利通貨オープン マザーファンド」は、12月22日に第95期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第90期～第95期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	先進国のソブリン債券および準ソブリン債券を中心に投資を行い、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。
主 要 運 用 対 象	先進国のソブリン債券および準ソブリン債券
主 な 組 入 制 限	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。 ・ ソブリン債券以外への投資は、取得時において、当マザーファンドの純資産総額の35%以内とします。 ・ 同一企業が発行する債券への投資は、取得時において、当マザーファンドの純資産総額の10%以内とします。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率			
	円		%	%	%	百万円
66期(2013年7月22日)	9,792		3.4	97.9	—	3,165
67期(2013年8月22日)	9,432		△3.7	97.3	—	2,966
68期(2013年9月24日)	9,907		5.0	96.3	—	3,068
69期(2013年10月22日)	9,978		0.7	97.5	—	3,045
70期(2013年11月22日)	10,031		0.5	96.4	—	3,006
71期(2013年12月24日)	10,308		2.8	97.4	—	2,939
72期(2014年1月22日)	10,293		△0.1	96.9	—	2,880
73期(2014年2月24日)	10,199		△0.9	96.9	—	2,771
74期(2014年3月24日)	10,275		0.7	96.3	—	2,750
75期(2014年4月22日)	10,460		1.8	96.7	—	2,779
76期(2014年5月22日)	10,343		△1.1	97.0	—	2,727
77期(2014年6月23日)	10,464		1.2	98.1	—	2,703
78期(2014年7月22日)	10,391		△0.7	98.5	—	2,633
79期(2014年8月22日)	10,516		1.2	97.5	—	2,648
80期(2014年9月22日)	10,780		2.5	97.7	—	2,656
81期(2014年10月22日)	10,391		△3.6	78.4	—	2,519
82期(2014年11月25日)	11,247		8.2	96.4	—	2,291
83期(2014年12月22日)	10,999		△2.2	96.1	—	2,127
84期(2015年1月22日)	10,610		△3.5	95.1	—	2,063
85期(2015年2月23日)	10,662		0.5	97.0	—	1,999
86期(2015年3月23日)	10,538		△1.2	97.5	—	1,912
87期(2015年4月22日)	10,611		0.7	96.8	—	1,918
88期(2015年5月22日)	10,946		3.2	95.9	—	1,962
89期(2015年6月22日)	10,873		△0.7	97.3	—	1,878
90期(2015年7月22日)	10,556		△2.9	97.0	—	1,803
91期(2015年8月24日)	10,213		△3.2	97.2	—	1,638
92期(2015年9月24日)	9,881		△3.3	97.7	—	1,549
93期(2015年10月22日)	10,120		2.4	96.9	—	1,577
94期(2015年11月24日)	10,226		1.0	96.2	—	1,583
95期(2015年12月22日)	10,175		△0.5	95.9	—	1,505

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

※当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		債組入比率	債券先物比率	債券率
		騰 落 率	騰 落 率			
第90期	(期首) 2015年6月22日	円	%	%	%	—
	6月末	10,873	—	97.3	—	—
	(期末) 2015年7月22日	10,727	△1.3	97.3	—	—
第91期	(期首) 2015年7月22日	10,556	—	97.0	—	—
	7月末	10,509	△0.4	96.8	—	—
	(期末) 2015年8月24日	10,213	△3.2	97.2	—	—
第92期	(期首) 2015年8月24日	10,213	—	97.2	—	—
	8月末	10,074	△1.4	95.9	—	—
	(期末) 2015年9月24日	9,881	△3.3	97.7	—	—
第93期	(期首) 2015年9月24日	9,881	—	97.7	—	—
	9月末	9,871	△0.1	97.1	—	—
	(期末) 2015年10月22日	10,120	2.4	96.9	—	—
第94期	(期首) 2015年10月22日	10,120	—	96.9	—	—
	10月末	10,160	0.4	96.5	—	—
	(期末) 2015年11月24日	10,226	1.0	96.2	—	—
第95期	(期首) 2015年11月24日	10,226	—	96.2	—	—
	11月末	10,216	△0.1	96.8	—	—
	(期末) 2015年12月22日	10,175	△0.5	95.9	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

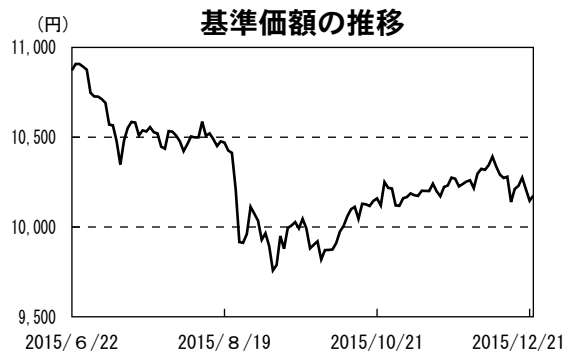
運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について

(第90期～第95期：2015/6/23～2015/12/22)

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ6.4%の下落となりました。



基準価額の主な変動要因

下落要因

全ての投資国通貨が対円で下落（円高）したことや、米国やオーストラリアなどの金利上昇により債券価格が下落したことが、基準価額の下落要因となりました。

投資環境について

(第90期～第95期：2015/6/23～2015/12/22)

◎先進国債券市況

- ・先進国債券市場は、金融政策の違いなどから金利はまちまちの動きとなりました。
- ・米国では、利上げ観測の高まりなどを受けて金利が上昇（債券価格は下落）しました。オーストラリアでは、資源価格の下落などを受けて景気が軟調に推移していることから金利が低下（債券価格は上昇）する局面があったものの、作成期を通してみると上昇しました。シンガポールでは、金利が低下する局面があったものの、作成期を通してみると小幅上昇しました。
- ・イギリスでは、金利が上昇する局面があったものの、低インフレが続いていることなどを背景に低下しました。ニュージーランドでは、景気浮揚を目的とした中央銀行による利下げなどを背景に金利は低下しました。

◎先進国為替市況

- ・先進国為替市場は、中国の景気減速懸念や資源価格の下落などを背景にリスク回避的な動きが強まり、全ての投資対象国通貨が作成期を通してみると対円で下落（円高）しました。
- ・米ドルは、利上げ観測などを受けて対円で上昇（円安）する局面があったものの、作成期を通してみると対円で下落しました。イギリス・ポンドは、低インフレ環境が続いていることを受けて利上げ観測が遠のいたことなどから、対円で下落しました。オーストラリア・ドルは、資源価格の下落などを背景に対円で下落しました。ニュージーランド・ドルは、主要な輸出品目である乳製品の価格などは底堅く推移したものの、世界的なリスク回避姿勢の強まりを受け、対円で下落しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

- ・基準価額は作成期首に比べ、6.4%の下落となりました。
- ・あらかじめ定めた先進国の投資対象国のうち、相対的に金利水準が高く、ファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）や市場規模、流動性等を勘案し選定した先進国5通貨の現地通貨建ソブリン債券におおむね均等に投資を行いました。
- ・国別資産配分については、作成期首は、ニュージーランド、オーストラリア、シンガポール、ノルウェー、カナダの現地通貨建国債をおおむね均等に組み入れたポートフォリオとしました。2015年9月に投資国通貨の定期見直しを実施し、金利の相対的な魅力などを勘案した結果、カナダおよびノルウェー国債からアメリカおよびイギリス国債への入れ替えを実施しました。作成期末は、ニュージーランド、オーストラリア、シンガポール、イギリス、アメリカの現地通貨建国債をおおむね均等に組み入れたポートフォリオとしました。
- ・残存期間については、各投資国の残存期間3年以内の国債へ投資を行いました。
- ・外貨の組入比率を高水準に維持し、外貨建資産については対円で為替ヘッジは行いませんでした。
- ・前記のような運用の結果、全ての投資国通貨が対円で下落（円高）したことや、米国やオーストラリアなどで金利が上昇し債券価格が下落したことが、基準価額の下落要因となりました。

（ご参考）

ポートフォリオの状況

作成期首（2015年6月22日）

通貨	債券組入比率	平均残存期間（年）	平均最終利回り	平均格付
ニュージーランド・ドル	18.2%	2.5	2.9%	A A A
オーストラリア・ドル	20.3%	1.7	1.9%	A A A
シンガポール・ドル	20.2%	1.2	0.9%	A A A
ノルウェー・クローネ	18.9%	1.9	0.8%	A A A
カナダ・ドル	19.8%	0.9	0.7%	A A A
その他	2.7%	—	—	—
合計／平均	100.0%	1.6	1.4%	A A A

作成期末（2015年12月22日）

通貨	債券組入比率	平均残存期間（年）	平均最終利回り	平均格付
ニュージーランド・ドル	19.2%	2.0	2.7%	A A A
オーストラリア・ドル	19.6%	1.2	2.1%	A A A
シンガポール・ドル	18.7%	0.7	0.7%	A A A
イギリス・ポンド	19.2%	0.7	0.3%	A A A
アメリカ・ドル	19.3%	0.2	0.2%	A A A
その他	4.1%	—	—	—
合計／平均	100.0%	0.9	1.2%	A A A

※組入比率は未取利息等を除いております。

・後記の注記をご参照ください。

（注）債券組入比率、平均残存期間（年）、平均最終利回り、平均格付は、現地通貨建債券の時価残高合計で加重平均し算出しています。

（注）平均格付は、Moody's社とS&P社の自国通貨建長期債務格付のうち、上位格付を基に三菱UFJ国際投信が計算し、S&P社の表示方法で表記しています。（出所：Bloomberg）

（注）合計値が表記の各要素と異なることがありますが、四捨五入による影響です。

（注）平均格付とは、基準日時点で投資信託財産が保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、ファンドおよびマザーファンドに係る信用格付ではありません。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドは運用の目標となるベンチマーク等を設けておりません。そのため、記載すべき事項はありません。

今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・欧州や日本では金融緩和が継続されており、世界的な低インフレなどを背景に米国の利上げペースも緩慢なものとなることが予想されるなか、金利は低位安定で推移すると予想しています。
- ・為替に関しては、短期的には投資家のリスクセンチメントの動向を受け、値動きの荒い展開となる可能性があるものの、日銀による金融緩和の長期化が見込まれるなか、主要な投資対象国通貨は対円で底堅く推移すると予想しています。

◎今後の運用方針

- ・国別資産配分では、原則として、先進国の中から相対的に金利の高い5通貨を選定し、現地通貨建の債券に均等に投資します。投資国通貨の選定においては、各国のファンダメンタルズや市場規模、流動性等も考慮します（選定通貨の見直しは定期的に行いますが、必要と判断した場合は別のタイミングで一部の通貨を入れ替えることがあります。入れ替えの途中などでは一時的に投資国通貨が5通貨とならないこともあります。）。
- ・残存期間が3年を超える債券には、原則として投資しないものとします。
- ・外貨の組入比率を高水準に維持し、外貨建資産については対円での為替ヘッジは原則として行わない方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2015年6月23日～2015年12月22日)

項目	第90期～第95期		項目の概要
	金額	比率	
(a) その他費用 (保管費用)	円 2 (2)	% 0.019 (0.019)	(a) その他費用 = $\frac{\text{作成期中のその他費用}}{\text{作成期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用等
合計	2	0.019	
作成期中の平均基準価額は、10,259円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2015年6月23日～2015年12月22日)

公社債

			第90期～第95期	
			買付額	売付額
外	アメリカ	国債証券	千アメリカドル 2,700	千アメリカドル 273
	カナダ	国債証券	千カナダドル —	千カナダドル 3,694
	イギリス	国債証券	千イギリスポンド 1,708	千イギリスポンド 92
	ノルウェー	国債証券	千ノルウェークローネ —	千ノルウェークローネ 22,312
国	オーストラリア	国債証券	千オーストラリアドル —	千オーストラリアドル 550
	ニュージーランド	国債証券	千ニュージーランドドル —	千ニュージーランドドル 481
	シンガポール	国債証券	千シンガポールドル —	千シンガポールドル 821

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

○利害関係人との取引状況等

(2015年6月23日～2015年12月22日)

利害関係人との取引状況

区分	第90期～第95期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 646	百万円 6	% 0.9	百万円 912	百万円 235	% 25.8

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行です。

○組入資産の明細

(2015年12月22日現在)

外国公社債

(A) 外国（外貨建）公社債 種類別開示

区 分	第95期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカドル 2,380	千アメリカドル 2,395	千円 290,316	% 19.3	% —	% —	% —	% 19.3
イギリス	千イギリスポンド 1,560	千イギリスポンド 1,600	288,922	19.2	—	—	—	19.2
オーストラリア	千オーストラリアドル 3,230	千オーストラリアドル 3,373	294,403	19.6	—	—	—	19.6
ニュージーランド	千ニュージーランドドル 3,300	千ニュージーランドドル 3,511	288,609	19.2	—	—	—	19.2
シンガポール	千シンガポールドル 3,200	千シンガポールドル 3,266	281,642	18.7	—	—	—	18.7
合 計	—	—	1,443,895	95.9	—	—	—	95.9

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) B B格以下組入比率の計算においては、Moody'sとS & Pの格付けのうち高いものを採用しています。

(B) 外国（外貨建）公社債 銘柄別開示

銘 柄	第95期末					
	利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
アメリカ	%	千アメリカドル	千アメリカドル	千円		
国債証券	4.5	4.5 T-NOTE 160215	2,380	2,395	290,316	2016/2/15
イギリス		千イギリスポンド	千イギリスポンド			
国債証券	4.0	4 GILT 160907	1,560	1,600	288,922	2016/9/7
オーストラリア		千オーストラリアドル	千オーストラリアドル			
国債証券	6.0	6 AUST GOVT 170215	3,230	3,373	294,403	2017/2/15
ニュージーランド		千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル			
国債証券	6.0	6 NZ GOVT 171215	3,300	3,511	288,609	2017/12/15
シンガポール		千シンガポールドル	千シンガポールドル			
国債証券	3.75	3.75 SINGAPOREGOVT 160901	3,200	3,266	281,642	2016/9/1
合 計					1,443,895	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2015年12月22日現在)

項 目	第95期末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 1,443,895	% 95.8
コール・ローン等、その他	63,428	4.2
投資信託財産総額	1,507,323	100.0

(注) 作成期末における外貨建純資産 (1,469,993千円) の投資信託財産総額 (1,507,323千円) に対する比率は97.5%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=121.21円	1 イギリスポンド=180.54円	1 オーストラリアドル=87.27円	1 ニュージーランドドル=82.20円
1 シンガポールドル=86.22円			

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第90期末	第91期末	第92期末	第93期末	第94期末	第95期末
	2015年7月22日現在	2015年8月24日現在	2015年9月24日現在	2015年10月22日現在	2015年11月24日現在	2015年12月22日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	1,806,507,086	1,645,840,945	1,551,911,010	1,581,965,290	1,585,129,479	1,507,323,155
コール・ローン等	36,863,468	19,938,712	28,979,753	38,771,409	25,645,203	46,109,886
公社債(評価額)	1,749,666,062	1,592,763,584	1,513,842,623	1,528,303,799	1,523,097,120	1,443,895,354
未収入金	-	17,305,640	-	-	14,886,661	-
未収利息	19,629,054	15,534,562	8,353,654	14,157,242	20,749,252	16,612,394
前払費用	348,502	298,447	734,980	732,840	751,243	705,521
(B) 負債	3,002,765	7,536,794	2,227,505	4,188,017	1,800,794	1,726,458
未払解約金	3,002,765	7,536,794	2,227,505	4,188,017	1,800,794	1,726,458
(C) 純資産総額(A-B)	1,803,504,321	1,638,304,151	1,549,683,505	1,577,777,273	1,583,328,685	1,505,596,697
元本	1,708,535,395	1,604,176,899	1,568,314,947	1,558,995,565	1,548,268,826	1,479,658,222
次期繰越損益金	94,968,926	34,127,252	△ 18,631,442	18,781,708	35,059,859	25,938,475
(D) 受益権総口数	1,708,535,395口	1,604,176,899口	1,568,314,947口	1,558,995,565口	1,548,268,826口	1,479,658,222口
1万円当たり基準価額(C/D)	10,556円	10,213円	9,881円	10,120円	10,226円	10,175円

○損益の状況

項 目	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
	2015年6月23日～ 2015年7月22日	2015年7月23日～ 2015年8月24日	2015年8月25日～ 2015年9月24日	2015年9月25日～ 2015年10月22日	2015年10月23日～ 2015年11月24日	2015年11月25日～ 2015年12月22日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	6,559,793	6,863,374	5,916,018	5,481,906	6,508,704	5,340,913
受取利息	6,559,793	6,863,374	5,916,018	5,481,906	6,508,704	5,340,913
(B) 有価証券売買損益	△ 61,505,359	△ 62,804,627	△ 59,338,403	32,014,910	10,016,942	△ 12,616,870
売買益	1,112,167	2,489	137,996	36,792,892	18,323,838	8,687,431
売買損	△ 62,617,526	△ 62,807,116	△ 59,476,399	△ 4,777,982	△ 8,306,896	△ 21,304,301
(C) 保管費用等	△ 53,583	△ 53,835	△ 48,342	△ 51,062	△ 55,214	△ 60,238
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 54,999,149	△ 55,995,088	△ 53,470,727	37,445,754	16,470,432	△ 7,336,195
(E) 前期繰越損益金	150,849,462	94,968,926	34,127,252	△ 18,631,442	18,781,708	35,059,859
(F) 追加信託差損益金	2,043,880	665,711	133,465	21,204	763,038	382,983
(G) 解約差損益金	△ 2,925,267	△ 5,512,297	578,568	△ 53,808	△ 955,319	△ 2,168,172
(H) 計(D+E+F+G)	94,968,926	34,127,252	△ 18,631,442	18,781,708	35,059,859	25,938,475
次期繰越損益金(H)	94,968,926	34,127,252	△ 18,631,442	18,781,708	35,059,859	25,938,475

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ① 作成期首（前作成期末）元本額 1,727,859,991円
 作成期中追加設定元本額 191,970,684円
 作成期中一部解約元本額 440,172,453円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末1,0175円です。
- ② 作成期末における元本の内訳（当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額）
 グローバル高金利通貨オープン（毎月決算型） 1,458,950,050円
 グローバル高金利通貨オープン（1年決算型） 20,708,172円
 合計 1,479,658,222円

[お知らせ]

- ① 委託者である「国際投信投資顧問株式会社」は「三菱UFJ投信株式会社」との合併により解散し、存続会社である「三菱UFJ投信株式会社」は2015年7月1日付で「三菱UFJ国際投信株式会社」と商号変更するための、所要の約款変更を2015年7月1日に行いました。
- ② 委託者が受益者に対してする公告は、電子公告の方法により行うための、所要の約款変更を2015年7月1日に行いました。

新興国高金利通貨オープン マザーファンド

《第90期》決算日2015年7月22日 《第93期》決算日2015年10月22日
 《第91期》決算日2015年8月24日 《第94期》決算日2015年11月24日
 《第92期》決算日2015年9月24日 《第95期》決算日2015年12月22日

[計算期間：2015年6月23日～2015年12月22日]

「新興国高金利通貨オープン マザーファンド」は、12月22日に第95期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第90期～第95期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	新興国のソブリン債券および準ソブリン債券を中心に投資を行い、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。
主 要 運 用 対 象	新興国のソブリン債券および準ソブリン債券
主 な 組 入 制 限	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。 ・ ソブリン債券以外への投資は、取得時において、当マザーファンドの純資産総額の35%以内とします。 ・ 同一企業が発行する債券への投資は、取得時において、当マザーファンドの純資産総額の10%以内とします。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率			
	円		%	%	%	百万円
66期(2013年7月22日)	11,195		3.8	97.0	—	3,194
67期(2013年8月22日)	10,588	△	5.4	96.5	—	3,003
68期(2013年9月24日)	11,249		6.2	96.6	—	3,120
69期(2013年10月22日)	11,250		0.0	96.8	—	3,070
70期(2013年11月22日)	11,363		1.0	97.4	—	3,030
71期(2013年12月24日)	11,612		2.2	95.9	—	2,973
72期(2014年1月22日)	11,327	△	2.5	95.2	—	2,893
73期(2014年2月24日)	11,080	△	2.2	94.9	—	2,823
74期(2014年3月24日)	11,003	△	0.7	94.5	—	2,772
75期(2014年4月22日)	11,516		4.7	97.6	—	2,800
76期(2014年5月22日)	11,675		1.4	97.0	—	2,768
77期(2014年6月23日)	11,704		0.2	96.6	—	2,725
78期(2014年7月22日)	11,725		0.2	96.0	—	2,668
79期(2014年8月22日)	11,906		1.5	97.0	—	2,669
80期(2014年9月22日)	12,140		2.0	96.2	—	2,685
81期(2014年10月22日)	11,714	△	3.5	96.2	—	2,534
82期(2014年11月25日)	12,659		8.1	93.0	—	2,327
83期(2014年12月22日)	11,905	△	6.0	89.7	—	2,186
84期(2015年1月22日)	11,738	△	1.4	96.7	—	2,092
85期(2015年2月23日)	11,550	△	1.6	95.6	—	2,008
86期(2015年3月23日)	11,248	△	2.6	95.8	—	1,937
87期(2015年4月22日)	11,661		3.7	95.6	—	1,930
88期(2015年5月22日)	12,206		4.7	96.3	—	1,964
89期(2015年6月22日)	11,970	△	1.9	89.0	—	1,889
90期(2015年7月22日)	11,783	△	1.6	94.5	—	1,808
91期(2015年8月24日)	10,383	△	11.9	92.0	—	1,628
92期(2015年9月24日)	9,919	△	4.5	95.3	—	1,530
93期(2015年10月22日)	10,447		5.3	97.3	—	1,575
94期(2015年11月24日)	10,765		3.0	97.5	—	1,587
95期(2015年12月22日)	10,102	△	6.2	95.7	—	1,504

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

※当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		債組 入 比 率	債先 物 比 率
		騰 落 率	騰 落 率		
第90期	(期 首) 2015年6月22日	円 11,970	% —	% 89.0	% —
	6月末	11,803	△ 1.4	95.4	—
	(期 末) 2015年7月22日	11,783	△ 1.6	94.5	—
第91期	(期 首) 2015年7月22日	11,783	—	94.5	—
	7月末	11,332	△ 3.8	93.3	—
	(期 末) 2015年8月24日	10,383	△11.9	92.0	—
第92期	(期 首) 2015年8月24日	10,383	—	92.0	—
	8月末	10,467	0.8	96.0	—
	(期 末) 2015年9月24日	9,919	△ 4.5	95.3	—
第93期	(期 首) 2015年9月24日	9,919	—	95.3	—
	9月末	9,978	0.6	97.5	—
	(期 末) 2015年10月22日	10,447	5.3	97.3	—
第94期	(期 首) 2015年10月22日	10,447	—	97.3	—
	10月末	10,509	0.6	96.8	—
	(期 末) 2015年11月24日	10,765	3.0	97.5	—
第95期	(期 首) 2015年11月24日	10,765	—	97.5	—
	11月末	10,581	△ 1.7	96.4	—
	(期 末) 2015年12月22日	10,102	△ 6.2	95.7	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について

(第90期～第95期：2015/6/23～2015/12/22)

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ15.6%の下落となりました。

基準価額の推移



基準価額の主な変動要因

下落要因

全ての投資国通貨が対円で下落（円高）したことや、ブラジルや南アフリカなどの金利上昇により債券価格が下落したことが、基準価額の下落要因となりました。

投資環境について

(第90期～第95期：2015/6/23～2015/12/22)

◎新興国債券市況

- ・新興国債券市場は、市場参加者のリスク回避姿勢が強まったことなどを背景に、多くの投資対象国で金利は上昇（債券価格は下落）しました。2015年7月から8月下旬にかけて原油価格が下落したことや8月に中国人民銀行（中央銀行）が市場予想に反して人民元の対米ドル為替レートの基準値切り下げを行ったことで新興国経済への不透明感が高まり、作成期を通してみると多くの投資対象国で金利は上昇しました。
- ・ロシアでは、原油安などによる景気悪化を背景としたロシアの中央銀行による政策金利の引き下げなどによって金利は低下（債券価格は上昇）しました。

◎新興国為替市況

- ・新興国為替市場は、中国経済の減速懸念や、原油をはじめとする商品市況の低迷、米国の利上げ観測の強まりなどを背景に、全ての投資対象国通貨が作成期を通して対円で下落（円高）しました。ロシア・ルーブルは2015年7月から8月にかけて原油価格の下落が続いたことを背景に対円で下落しました。南アフリカ・ランドは、12月にズマ大統領がネネ財務相を解任したことなどを背景に対円で下落しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

- ・基準価額は作成期首に比べ、15.6%の下落となりました。
- ・あらかじめ定めた新興国の投資対象国のうち、相対的に金利水準が高く、ファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）や市場規模、流動性等を勘案し選定した新興国5通貨の現地通貨建ソブリン債券におおむね均等に投資を行いました。
- ・国別資産配分については、作成期首は、ブラジル、ロシア、トルコ、南アフリカ、コロンビアの現地通貨建国債をおおむね均等に組み入れたポートフォリオとしました。2015年9月に投資国通貨の見直しを実施し、金利水準などを勘案してコロンビア国債を売却し、メキシコ国債への入れ替えを実施しました。その後、実施した定期的な投資国通貨の見直しでは、投資国通貨に変更を加えませんでした。
- ・残存期間については、各投資国の残存期間3年以内の国債へ投資を行いました。
- ・外貨の組入比率を高水準に維持し、外貨建資産については対円での為替ヘッジは行いませんでした。
- ・前記のような運用の結果、作成期を通じて多くの投資国で金利が上昇（債券価格は下落）したこと、および全ての投資国通貨が対円で下落したことが、基準価額の下落要因となりました。

(ご参考)

ポートフォリオの状況

作成期首（2015年6月22日）

通貨	債券組入比率	平均残存期間(年)	平均最終利回り	平均格付
ブラジル・レアル	19.5%	1.5	14.1%	BBB+
ロシア・ルーブル	19.4%	0.5	11.5%	BBB-
トルコ・リラ	12.0%	0.7	10.0%	BBB-
南アフリカ・ランド	20.0%	1.7	7.1%	BBB+
コロンビア・ペソ	18.0%	0.3	5.4%	BBB+
その他	11.0%	—	—	—
合計／平均	100.0%	0.9	8.8%	BBB

作成期末（2015年12月22日）

通貨	債券組入比率	平均残存期間(年)	平均最終利回り	平均格付
ブラジル・レアル	19.5%	1.1	15.9%	BBB-
ロシア・ルーブル	18.3%	1.3	11.1%	BBB-
トルコ・リラ	19.7%	1.1	10.8%	BBB-
南アフリカ・ランド	18.6%	1.5	8.0%	BBB+
メキシコ・ペソ	19.6%	2.2	4.2%	A
その他	4.3%	—	—	—
合計／平均	100.0%	1.4	9.6%	BBB

※組入比率は未収利息等を除いております。

・後記の注記をご参照ください。

(注) 債券組入比率、平均残存期間(年)、平均最終利回り、平均格付は、現地通貨建債券の時価残高合計で加重平均し算出しています。

(注) 平均格付は、Moody's社とS&P社の自国通貨建長期債務格付のうち、上位格付を基に三菱UFJ国際投信が計算し、S&P社の表示方法で表記しています。(出所: Bloomberg)

(注) 合計値が表記の各要素と異なることがありますが、四捨五入による影響です。

(注) 平均格付とは、基準日時点で投資信託財産が保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、ファンドおよびマザーファンドに係る信用格付ではありません。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドは運用の目標となるベンチマーク等を設けておりません。そのため、記載すべき事項はありません。

今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・中国経済の減速や資源価格の下落は、一部の新興国の成長にマイナスとなっています。しかしながら、多くの新興国における外貨準備残高や対外債務残高は問題ない水準と考えられ、ファンダメンタルズは良好とみています。今後の運用環境においては、中国経済の動向や先進国および新興国の金融政策といったリスク要因が考えられます。
- ・新興国債券市場においては、資源の輸出国と輸入国の違いや、各国の金融政策に注目する必要があるとみています。
- ・新興国為替市場においては、資源輸入国や経常黒字国の通貨が、不安定な経済環境の中で、相対的に優位な状況にあるとみています。

◎今後の運用方針

- ・国別資産配分では、原則として、新興国の中から相対的に金利の高い5通貨を選定し、現地通貨建の債券に均等に投資します。投資国通貨の選定においては、各国のファンダメンタルズや市場規模、流動性等も考慮します（選定通貨の見直しは定期的に行いますが、必要と判断した場合は別のタイミングで一部の通貨を入れ替えることがあります。入れ替えの途中などでは一時的に投資国通貨が5通貨とならないこともあります。）。
- ・残存期間が3年を超える債券には、原則として投資しないものとします。
- ・外貨の組入比率を高水準に維持し、外貨建資産については対円での為替ヘッジは原則として行わない方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2015年6月23日～2015年12月22日)

項目	第90期～第95期		項目の概要
	金額	比率	
(a) その他費用 (保管費用)	円 6 (6)	% 0.054 (0.054)	(a) その他費用 = $\frac{\text{作成期中のその他費用}}{\text{作成期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用等
合計	6	0.054	
作成期中の平均基準価額は、10,778円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2015年6月23日～2015年12月22日)

公社債

			第90期～第95期	
			買付額	売付額
外	メキシコ	国債証券	千メキシコペソ 43,356	千メキシコペソ 1,772
	ブラジル	国債証券	千ブラジルリアル 495	千ブラジルリアル 98
	コロンビア	国債証券	千コロンビアペソ 584,164	千コロンビアペソ 7,557,416
	トルコ	国債証券	千トルコリラ 3,221	千トルコリラ 1,077
国	ロシア	国債証券	千ロシアルーブル 88,875	千ロシアルーブル 19,267 (70,710)
	南アフリカ	国債証券	千南アフリカランド 3,545	千南アフリカランド 4,714 (646)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2015年6月23日～2015年12月22日)

利害関係人との取引状況

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2015年12月22日現在)

外国公社債

(A) 外国 (外貨建) 公社債 種類別開示

区 分	第95期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
メキシコ	千メキシコペソ 40,216	千メキシコペソ 41,655	千円 294,503	% 19.6	% -	% -	% 10.5	% 9.0
ブラジル	千ブラジルレアル 9,781	千ブラジルレアル 9,720	293,669	19.5	-	-	0.5	19.0
トルコ	千トルコリラ 7,400	千トルコリラ 7,111	296,112	19.7	-	-	8.9	10.8
ロシア	千ロシアルーブル 167,825	千ロシアルーブル 162,132	275,625	18.3	-	-	9.2	9.2
南アフリカ	千南アフリカランド 34,456	千南アフリカランド 34,845	280,161	18.6	-	-	-	18.6
合 計	-	-	1,440,072	95.7	-	-	29.1	66.6

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) B B格以下組入比率の計算においては、Moody'sとS & Pの格付けのうち高いものを採用しています。

(B) 外国 (外貨建) 公社債 銘柄別開示

銘 柄		第95期末					
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日	
				外貨建金額	邦貨換算金額		
メキシコ	国債証券	4.75 MEXICAN BONO 180614	4.75	22,242	22,401	158,381	2018/6/14
		7.75 MEXICAN BONO 171214	7.75	17,973	19,253	136,122	2017/12/14
		小 計				294,503	
ブラジル	国債証券	10 (IN) BRAZIL NTN 180101	10.0	279	263	7,955	2018/1/1
		10 (IN) BRAZIL NTN-F170101	10.0	9,502	9,457	285,713	2017/1/1
		小 計				293,669	
トルコ	国債証券	10.7 TURKEY GOVT 160224	10.7	3,900	3,895	162,215	2016/2/24
		6.3 TURKEY GOVT 180214	6.3	3,500	3,215	133,897	2018/2/14
		小 計				296,112	
ロシア	国債証券	6.9 RUSSIA GOVT 160803	6.9	47,450	46,419	78,913	2016/8/3
		7.35 RUSSIA GOVT 160120	7.35	34,875	34,733	59,046	2016/1/20
		7.5 RUSSIA GOVT 180315	7.5	85,500	80,979	137,665	2018/3/15
		小 計				275,625	
南アフリカ	国債証券	13.5 SOUTH AFRICA 160915	13.5	8,646	8,995	72,320	2016/9/15
		8.25 SOUTH AFRICA 170915	8.25	25,810	25,850	207,840	2017/9/15
		小 計				280,161	
合 計					1,440,072		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2015年12月22日現在)

項 目	第95期末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 1,440,072	% 95.5
コール・ローン等、その他	67,458	4.5
投資信託財産総額	1,507,530	100.0

(注) 作成期末における外貨建純資産 (1,486,273千円) の投資信託財産総額 (1,507,530千円) に対する比率は98.6%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=121.21円	1 メキシコペソ=7.07円	1 ブラジルリアル=30.21円	1 トルコリラ=41.64円
1 ロシアルーブル=1.70円	1 南アフリカランド=8.04円		

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第90期末	第91期末	第92期末	第93期末	第94期末	第95期末
	2015年7月22日現在	2015年8月24日現在	2015年9月24日現在	2015年10月22日現在	2015年11月24日現在	2015年12月22日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	1,960,454,019	1,632,779,746	1,542,587,965	1,578,104,234	1,599,714,879	1,507,571,570
コール・ローン等	165,358,000	74,471,530	58,903,410	19,248,671	20,712,346	44,529,240
公社債(評価額)	1,708,820,251	1,497,410,680	1,458,222,399	1,533,255,909	1,547,241,786	1,440,072,688
未収入金	25,414,905	4,399,120	15,310,574	7,855,095	5,504,943	40,574
未取利息	48,646,512	45,118,795	5,299,239	12,600,307	20,991,090	22,581,754
前払費用	12,214,351	11,379,621	4,852,343	5,144,252	5,264,714	347,314
(B) 負債	151,744,340	4,464,916	11,842,222	2,726,269	12,090,585	3,088,480
未払金	151,700,936	4,434,000	57,741	2,679,783	1,793,842	40,583
未払解約金	43,404	30,916	11,784,481	46,486	10,296,743	3,047,897
(C) 純資産総額(A-B)	1,808,709,679	1,628,314,830	1,530,745,743	1,575,377,965	1,587,624,294	1,504,483,090
元本	1,535,023,695	1,568,260,525	1,543,242,913	1,507,923,630	1,474,850,629	1,489,353,739
次期繰越損益金	273,685,984	60,054,305	△ 12,497,170	67,454,335	112,773,665	15,129,351
(D) 受益権総口数	1,535,023,695口	1,568,260,525口	1,543,242,913口	1,507,923,630口	1,474,850,629口	1,489,353,739口
1万口当たり基準価額(C/D)	11.783円	10.383円	9.919円	10.447円	10.765円	10.102円

○損益の状況

項 目	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
	2015年6月23日～ 2015年7月22日	2015年7月23日～ 2015年8月24日	2015年8月25日～ 2015年9月24日	2015年9月25日～ 2015年10月22日	2015年10月23日～ 2015年11月24日	2015年11月25日～ 2015年12月22日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	28,344,746	10,257,227	9,532,576	7,785,763	8,962,040	7,054,896
受取利息	28,344,746	10,257,227	9,532,576	7,785,763	8,962,040	7,054,896
(B) 有価証券売買損益	△ 57,057,176	△ 228,204,124	△ 81,063,556	74,349,182	39,104,783	△ 105,526,593
売買益	8,381,470	2,074,656	23,812,347	74,912,853	53,797,950	1,614,844
売買損	△ 65,438,646	△ 230,278,780	△ 104,875,903	△ 563,671	△ 14,693,167	△ 107,141,437
(C) 保管費用等	△ 145,872	△ 146,592	△ 166,769	△ 145,618	△ 114,060	△ 183,777
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 28,858,302	△ 218,093,489	△ 71,697,749	81,989,327	47,952,763	△ 98,655,474
(E) 前期繰越損益金	310,982,746	273,685,984	60,054,305	△ 12,497,170	67,454,335	112,773,665
(F) 追加信託差損益金	3,879,347	8,723,654	765,493	792,383	1,789,743	2,223,667
(G) 解約差損益金	△ 12,317,807	△ 4,261,844	△ 1,619,219	△ 2,830,205	△ 4,423,176	△ 1,212,507
(H) 計(D+E+F+G)	273,685,984	60,054,305	△ 12,497,170	67,454,335	112,773,665	15,129,351
次期繰越損益金(H)	273,685,984	60,054,305	△ 12,497,170	67,454,335	112,773,665	15,129,351

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ①作成期首(前作成期末)元本額 1,578,509,597円
 作成期中追加設定元本額 286,836,887円
 作成期中一部解約元本額 375,992,745円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末1.0102円です。
- ②作成期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)
 グローバル高金利通貨オープン(毎月決算型) 1,460,967,583円
 グローバル高金利通貨オープン(1年決算型) 20,736,854円
 新興国高金利通貨オープン(毎月決算型) 7,649,302円
 合計 1,489,353,739円

[お知らせ]

- ①委託者である「国際投信投資顧問株式会社」は「三菱UFJ投信株式会社」との合併により解散し、存続会社である「三菱UFJ投信株式会社」は2015年7月1日付で「三菱UFJ国際投信株式会社」と商号変更するための、所要の約款変更を2015年7月1日に行いました。
- ②委託者が受益者に対してする公告は、電子公告の方法により行うための、所要の約款変更を2015年7月1日に行いました。